

ハイテム 高性能ラテラル非常開放システム開発 換気、気密性能が高く点検容易

（株）ハイテム（安田勝彦 社長）本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10）は、ウインドレス鶏舎に標準装備される非常開放システム（発電機が万一起動しない場合に作動）の性能向上に取り組んでいるが、このほど次の特長を持つシステムを開発（特許申請済み）し、ハイテム設備へのシステム化を始めると発表しました。

①従来の電磁石方式の非常開放システムは、いったん作動すると手動による回復が必要で、定期点検にも手間がかかる難点があった。新システムではハイテム設備に標準装備されている常時充電24時間電源を使用し、ギアモーターによりシステムを開放・回復する。点検作業もシンプルで容易になっている。なお、同じ機能は油圧装置でも可能だ

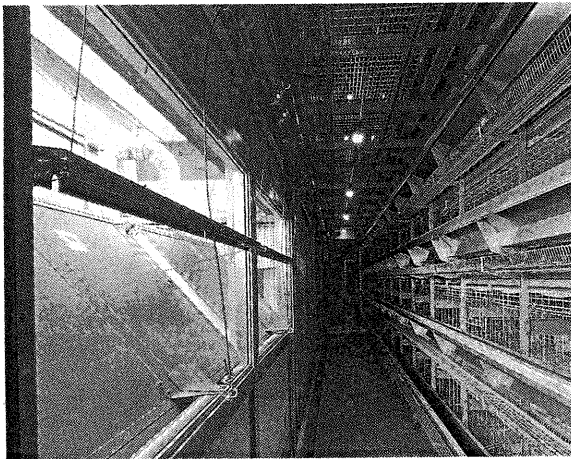
が、オイル交換（埃混入不可）や数週間不動作後の作動の信頼性など、鶏舎環境には必ずしも適さず、高額となることからギアモーターによるシステムを開発した。

②特殊形状の部品を使用し、ワイヤーで強制開

放する機構を開発した。なお、鶏舎長手方向の動作伝達は、オイルテンパー線を使用し、安定動作を図っている。

③非常開放ドアは横形状（ラテラル）とし、開放時の換気性能を高めている。

④ドアはワイヤーで締め込まれ、従来のラッチ（カンヌキ）方式に比べ気密性が格段に向上している。



高性能ラテラル非常開放システムの第1号納入事例